

トランスフェリン		2127000			
		担当部署			
Tf		生化			
検査オーダー					
患者同意に関する要求事項		特記事項なし			
オーダーリング手順	1	電子カルテ→指示①→検査→*2.分野別→生化学→			
	2				
	3				
	4				
	5				
検査に影響する臨床情報		特記事項なし			
検査受付時間		8 : 15 ~ 16 : 00			
検体採取・搬送・保存					
患者の事前準備事項		特記事項なし			
検体採取の特別なタイミング		特記事項なし			
検体の種類	採取管名	内容物	採取量	単位	
1	全血	10 青	分離剤	8	mL
2	-	-	-	-	-
3	-	-	-	-	-
4	-	-	-	-	-
5	-	-	-	-	-
6	-	-	-	-	-
7	-	-	-	-	-
8	-	-	-	-	-
検体搬送条件		室温			
検体受入不可基準		1)採取容器違いの検体 2)バーコードラベルの貼られていない検体 3)固形物 4)粘性のある検体			
保管検体の保存期間		冷蔵・2 週間(追加検査については、検査室に要問合せ)			
検査結果・報告					

検査室の所在地		病院棟 3 階 中央検査部				
測定時間		当日中～翌日				
生物学的基準範囲		全体群 190～320 mg/dL 男性群 190～300 mg/dL 女性群 200～340 mg/dL N-アッセイ TIA Tf-H ニットーボ-試薬添付文書				
臨床判断値		設定なし				
基準値					単位	mg/dL
共通低値	共通高値	男性低値	男性高値	女性低値	女性高値	
190	320	設定なし	設定なし	設定なし	設定なし	
パニック値	高値	設定なし				
	低値	設定なし				
生理的変動要因		特記事項なし				
臨床的意義		<p>トランスフェリン(Tf)はβグロブリン分画に属する血漿蛋白で、主に肝臓で合成される。血清中では鉄と結合して、生体内で種々の組織へ鉄を輸送する役割を持つ。</p> <p>1分子のTfは鉄のFe³⁺の2分子と結合しうる。正常ではTfの1分子の約3分の1が鉄と結合しているため、さらに血清鉄濃度の2倍量と結合しうる能力(不飽和鉄結合能)を保有している。</p> <p>Tfは貯蔵する鉄が減少するに従い増加する。妊娠時には貯蔵鉄の枯渇により、その値は単純な鉄欠乏性貧血以上に高値となる。</p> <p>逆に貯蔵鉄が増加した場合(ヘモクロマトーシスなど)、Tfは低下する。</p> <p>また各種の悪性疾患、炎症、造血能低下状態、肝硬変症などでは肝での産生低下のため減少し、ネフローゼ症候群や蛋白漏出性胃腸症では体外への喪失に伴い低下する。</p> <p>血清中での鉄はすべてTfと結合しており、貯蔵はヘモジデリンとフェリチンが関与している。</p> <p>よって鉄代謝の把握にはこれらの項目や不飽和鉄結合能の測定が行われる。</p> <p>三菱化学メディエンス 検査項目解説改訂第4版 452,2008</p>				